

# こむねが

第 4 4 号

理事長からのメッセージ

- ・無事竣工式を終え、平成28年10月1日特別養護老人ホーム「ふれあいの麗寿」が誕生しました。構想から足掛け5年のプロジェクトで感無量です。本部機能も、「ふれあいの森」から「ふれあいの麗寿」へ移転しました。
  - ・竣工式の来賓祝辞において、麗寿会の長い伝統と地域からの大きな期待を担っていることをひしひしと感じ、身の引き締まる思いがしました。
  - ・本事業所において目指すのは、利用者本位、尊厳を保持した自分らしく生きる支援を行うことです。
  - ・そして多様な専門職がチーム一丸となって、責任をもってご利用者様を支えていきます。
  - ・又当地は南湖の左富士で有名な景勝地であり、屋上からは茅ヶ崎の花火大会もよく見えるはずです。
- 近くにお越しの折には、是非お立ち寄り下さい。職員一同お待ちしております。

理事長 大屋敷 幸志

## 特別養護老人ホーム ふれあいの麗寿 開所しました!!

～法人設立25周年の節目に、新たな法人の飛躍の拠点として茅ヶ崎市南湖の地で開所しました。～



「特別養護老人ホーム ふれあいの麗寿」は、当法人で3番目の特別養護老人ホームとなります。

法人設立時に事業を開始した「特別養護老人ホーム ふれあいの森」(多床室)は23年目を迎え、平成19年に事業を開始した「特別養護老人ホーム ふれあいの泉」(小規模生活単位型：ユニット)は9年目を迎えています。このような生立ちの中で、麗寿は、ふれあいの森の多床室タイプとふれあいの泉のユニットタイプの機能の両方を併せ持った近隣にはない施設となります。

各々の施設で培った運営スキルを融合し、将来的なニーズを捉えた新たな視点で運営することを目指します。

安心・安全は基より、入居者皆様が日々の生活の中に楽しみを持ち、その人らしさを生きがいに繋げていけるような暮らしづくりの提供を創造していきます。

そして、グループ内の医療機関との連携により、入居者様の日常生活から終末期の過ごし方までご本人とご家族と一緒に考えていく環境を目指し、安心と安全を創造いたします。

現場で働く職員は、その人らしい生活を当たり前のように営むことのできる環境を提供することを基本とするとともに、主役は入居されている方であり、各種の専門職がその方を支えていくチームケアを主体といたします。

1	理事長からのメッセージ	1・2・3	特別養護老人ホーム ふれあいの麗寿 開所しました!!
4	ふれあいの森	5	ふれあいの泉
6	ふれあいの里	7	ふれあいの家 こすもす
7	ふれあいの家 みのり	8	茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆず
8	鶴嶺西地区地域包括支援センターみどり	8	茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆず
8	小出地区地域包括支援センターわかば	8	編集後記

◎法人の基本理念「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」のもとに、

- ・安心できる環境の中で充実した生活
- ・生きる力を引き出す生活
- ・施設を中心とした地域での生活
- ・その人らしさを支える専門職との生活

### ● “施設”から“住まい”への変革

ユニットケアとグループケアを導入し、“施設”を越えて“住まい”に近い環境づくりを目指します。ユニットとグループをひとつの“家庭”と考え、人間の尊厳が保たれるプライベートスペース（個室）とパブリックスペース（共有）を設けることにより、“施設”から“住まい”へと環境を整えて心地よい居場所を作るという考えが基本であります。

### ● 社会福祉法人の使命（近隣地域への貢献）

社会福祉法人として、公益性を重視し、近隣及び地域にお住まいの皆さまに、お気軽に足を運んで頂けるようエントランスホールの解放をおこない、非常災害時には防災拠点として要介護者等が利用できる施設として備えております。

そして、施設としてボランティアセンターを開設し、地域の皆さまと入居者が自然な交流の機会が持てるよう積極的に活動して参ります。

## 【施設概要】

### 特別養護老人ホーム ふれあいの麗寿

#### ● 長期入所定員

- 100名（多少室 49名 ・ ユニット51名）
- 多床室（4人部屋）×12部屋
  - 個室1部屋
  - ユニット（個室） 10人ユニット×4ユニット
  - 11人ユニット×1ユニット

#### ● 短期入所

- 10名 ユニット（個室） 10人ユニット×1ユニット
- 対象地域：茅ヶ崎市全域、平塚市及び寒川町の一部地域

#### ● 構造

鉄筋コンクリート造5階建

#### ● 建物面積

延床面積：4,989.82㎡



エントランスホール



ユニット居室（個室）

## ● 主な設備

居室、静養室（個室）、食堂、一般浴室、  
機械浴室、医務室、ボランティア室、相談室、  
エントランスホール、事務室など

## ● 開設日

平成28年10月1日

## ● 提携医療機関

医療法人社団 康心会

- 湘南東部総合病院（救急対応病院）
- 湘南東部クリニック
- 茅ヶ崎中央病院
- 茅ヶ崎新北陵病院

地域に根差した開かれた施設運営を目指して参る所存でございます。入所に対すること、福祉に関するご相談等お受けいたします。是非一度、お気軽にご連絡またはお越しください。

## 【お問い合わせ】

特別養護老人ホーム ふれあいの麗寿

茅ヶ崎市南湖1-6-15

電話：0467-85-1122 FAX：0467-85-1129



多床室居室（四人部屋）



スタッフルーム



各種 機械浴槽



ふれあいの麗寿 竣工式 (9/28)

## 特 養

ふれあいの森では、災害時等における福祉避難所として非常食1,200食、ペットボトルの水を300リットル備蓄しております。また地域住民の皆様も避難できるよう400食を備蓄いたしました。更に、受水槽に蛇口を設置したことで、非常時には24トンの水が飲料として使用できるように致しました。

非常用トイレとしては段ボール素材の簡易トイレ(1台100回使用可)を3台、毛布も40枚を準備しました。ガス等が使用できない場合も想定して、ロケットコンロを製作し、非常時においても薪等の燃料により煮炊きができるようにしました。

写真は地域の自治会長等を招いて実施した防災訓練時のものです。

訓練時はトウモロコシを湯がいて戴きました。



## デイサービス

ふれあいの森デイサービスでは、ご利用者の望む生活を出来る限り支援いたしたく、日々取り組んでいます。

デイサービスを利用する目的は、ご利用者個々により異なります。おひとりお一人のニーズを把握し、的確なアセスメントや背景を捉え、支援を行っています。その為に個人を尊重し、自己決定していただいています。

楽しみのある場、友人との語らい、役割があり皆さんが必要とされている場、意欲的に取り組める物等々、豊かな生活を送れる、そんな場所にふれあいの森デイサービスはなりたいと思います。

そして、認知症ケアにも積極的に取り組み、その人らしい生活が送れるように支援しています。

お年を召しても、障害があっても、認知症になっても、私は私でいたい、そんな想いを叶えてさし上げられるような支援者でいたいと思います。

今後とも、ふれあいの森デイサービスへご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いたします。



## ふれあいの泉

**【夏祭り】** 7月24日（日）にふれあいの泉夏祭りを開催しました。昨年までは屋内だったものを、今年は1Fエントランスを中心に、駐車場も一部使用しての開催となりました。天候に恵まれ、また近所の子供たちも遊びに来てくれたりととてもにぎわいました。

屋台はたこ焼き、フランクフルト、わたがし等が列となり、遊び屋台でもご利用者様と子供たちが混じって楽しまれていました。

スーパーボールすくいの屋台で楽しめるご利用者様です。手元がしっかりと狙いを定めていました。

他には輪投げ、パターゴルフ、魚釣りのゲーム屋台が並びました。

お年寄りもお子様も一緒になって楽しみました。

食べ物屋台は行列です。ご利用者様とご家族様が一緒に召し上がっていました。暑かったせいか、アイスクリームが飛ぶように無くなっていました。

ママさんコーラスにも来ていただきました。素敵な歌声にご利用者様はうっとりとし聞き惚れていました。

当日はたくさんの方にお越しいただきましたが、多くのボランティアさんに協力をいただき、楽しい1日を過ごすことができました。



## ケアセンター茅ヶ崎元町

ケアセンター茅ヶ崎元町は、日常生活の中で、ココロもカラダも更に元気になって、生活の潤いも増す『もう一つの自分の居場所』を目指しています。

今回は敬老の日にちなみ行われた行事についてお伝えいたします。毎年敬老の日の週はご利用者に喜んでいただくように趣向をこらした企画をしています。今年のプレゼントはご自分でシールを貼った扇子となりました。8月のご利用日の午後の時間にご自分で選んだシールを貼る作業をし



敬老会の様子



プレゼントのお扇子



常食の松花堂弁当



かゆ食の松花堂弁当

ていただき完成させた物です。午後の時間に一人ひとり敬老の祝いとしてお渡しいたしました。

お食事についても紹介させていただきます。その週は行事食として松花堂弁当をお出ししています。お粥や刻みの食事を召し上がっている方も同じお弁当を召し上がっていただけるように工夫をしています。

ケアセンター茅ヶ崎元町では、以前のこもれびで紹介をいたしました年間を通して継続して行っているコグニサイズや作業療法に繋がるレクリエーションと季節の歳時記に合わせて行う行事を組み合わせるレクリエーションをおこなっております。

このことでデイサービスのご利用時にメリハリをつけ、ご利用者それぞれに合った居場所作りに心がけています。

## ふれあいの里

7月8日 夏まつり

お囃子に誘われて、夏祭りの始まりです。

輪投げ、ダーツ、ボーリングのゲームコーナーには順番待ちの列ができ、高得点者続出で景品のお菓子のつかみ取りも盛況でした。

右、左と応援の声が飛び交うスイカ割り、手拍子と拍手の中でのカラオケ大会と続き、最後はお好みの飲み物とお菓子でゆったりとカフェを楽しんでいただきました。

夕食は厨房からの美味しい夏祭りの献立と、ビールやジュースで会話の弾む時間となりました。

今年も、神様を崇め、祈りと感謝と願いをこめた夏祭りが日本各地で開催されました。

エネルギーを発散させ、元気をもらい、明日を生きるための力として受け継がれてきたのでしょうか。ふれあいの里でも、これからも皆様の明日の元気や楽しみに繋がるよう季節の行事を大切にしていきたいと考えています。



## ふれあいの家 こすもす

☆今年目標 地域との関わりを多くしよー!! ☆

◎やったー♪今年4月頃、こすもすの近くに複合商業施設ができました。スーパーだけでなく100円ショップ、洋服屋さん、薬屋さん、靴屋さん等の様々なお店が並び、入居者さんとお散歩がてら買い物を楽しんでいます。久しぶりのスーパーでの買い物に皆さん、笑顔が満開でした。

◎地域との交流の一環として、美化運動の草むしりにも参加しました。虫が出てきてもなんのその！地域の方々と共に清々しい汗を流しました。

◎夏真っ盛り(\*^。^\*) 盆踊りの音色や出店の匂いに誘われて、近隣の夏祭りにも行ってきました。童心に帰り踊り踊った末・・・帰りはやっこすもすまで歩いて帰宅。疲れたけど楽しかった～

まだまだ有りますが、とにかく今年は外で大いに楽しんでいます。



## ふれあいの家 みのり

ふれあいの家みのり（以下みのりと表記）は2階建てのグループホームで、定員は18名（各階9名ずつ）です。家庭的な雰囲気の中で自分らしくゆったりとした生活を送っていただいております。

平成25年4月の開所後より、南湖下町自治会に加入させて頂き地域の皆様とのふれあいを大切にしております。そのため毎年行われている地域の行事（演芸大会、納涼会、年越しの餅つき等）には必ず参加をさせて頂いております。今年で新規事業所として4年目を迎えました。地域の皆様との関係性も築くことができ、今

ではご入居者様やみのり職員と地域の方々とは顔馴染みとなりました。

これからも地域に根ざした関係が継続できるよう努めていきます。



演芸大会



納涼盆踊り大会



納涼盆踊り大会



納涼盆踊り大会

## 鶴嶺西地区地域包括支援センターみどり

鶴嶺西地区地域包括支援センターみどりでは、鶴嶺西地区コミュニティセンターにて「脳活クラブ★2」を現在開催中です。

大好評のうちに昨年度終了致しました認知症予防のための「脳活クラブ」に引き続き、第2期目の「脳活クラブ」ということで、より内容をパワーアップしての開催となり、参加者の皆様に大いに脳を活性化して頂きました。

今後も地域住民の方々に対し、顔の見える関係づくりをするとともに、有意義な企画を開催したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



## 茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆず

茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆずでは、今年度「ゆずクラブ」という地域住民の皆さまが自由に参加していただける体操教室事業を実施いたしました。「ゆずクラブ」は地域の介護予防の推進を目的に“気軽に”“どなたでも”参加していただける体操教室で、コグニサイズを取り入れた頭の体操も実施し、毎回30名以上の参加をいただきました。今後とも、地域の皆さまに利用していただける行事を企画して参りたいと思います。



## 小出地区地域包括支援センターわかば

平成25年秋、小出の中心部にわかばが開所してから今年10月で丸3年を迎えることになりました。これもひとえに地域住民、民生児童委員、自治会、まちぢから協議会、各事業所等々・・たくさんの方々の温かい御厚情の賜物と心より深く御礼申し上げます。これを機に職員一同、心を新たにして皆様の御期待に添えますよう一層努力してまいる所存です。また今年8月、事務所の外壁も心機一転、白から爽やかな色合いに変更しました。これからも地域の方がお気軽に相談できる小出の拠り所として有り続けたいです。



### 編集後記

- ・平成3年7月に設立した麗寿会も今年で25周年を迎えました。
- ・冒頭理事長のメッセージ通り、3番目の特養が生まれ、新たな展開に期待がかかりますがこういうときこそ、もう一度足元を固める必要があります。
- ・社会福祉法人として、地域に何が貢献できるか?、各施設は一層地域に向き、又地域に開放された拠点になれるよう努力して参ります。
- ・特に昨年より力を入れている包括支援センター・在宅サービス部門のサロンへの参加、出張講座・福祉講座の企画は、すっかり地域に根差し定着しました。
- ・又、長年取り組んできた「認知症ケア」については、職員採用に当たってもアピールしている点ですが、多くの介護職員に共感と賛同を生んでいます。
- ・今後も、只々実践あるのみ!

麗寿会は節目の年に、更なる発展を目指していきます。

法人事務長 鳥羽 芳弘



社会福祉法人麗寿会では、行事やイベント、各施設の取り組み等を『facebook』にて随時公開しております。

麗寿会WEBページからのリンク、もしくは本誌QRコードからアクセスできますので、ぜひご覧頂ければと存じます。

編集発行：社会福祉法人「麗寿会」 〒253-0061 神奈川県茅ヶ崎市南湖1-6-15 TEL:0467-85-1122

発行責任者：鳥羽 芳弘 発行日：平成28年10月1日 <http://www.reijukai.or.jp/>